

11月のささやまっこだより

令和6年11月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎



園庭の桜の木の葉が秋風に吹かれ、一枚そしてまた一枚と散っています。気温もいつの間にか寒さを感じさせるものとなりました。季節の変わり目は、体調を崩しがちですがだからといって厚着をさせすぎないようにしましょう。まずは、寒さに負けない“気持ち”を持たせることです。“さむसानカへっちゃらだ”という気持ちを持つことができる、大きくなった時にも気力で病気を吹き飛ばすことができるように思います。「病は気から」と言われます。小さい時から寒さに対する“気持ちの免疫力”をつけておくことも大切だと思います。ただし、病気になってしまった時には、病気を早く治すためにはどうすることがいいのか(衣服の調節や睡眠をとる、栄養があるものを食べる)は、教えてあげないといけません。このようにして、普段の生活の中で子どもたちが自分の身体や病気について考えることができるようにしていければと考えています。



さて、秋は、子どもたちの心も体も大きく伸びる時期だと言われています。それは、今までの経験を生かす力が備わってきた表れです。子どもたちの遊びが以前と比べて、「遊び続ける」とか「遊びを発展させる」ことができるように変わってきています。自己主張だけではだめだということにも気づき始め、仲間の話も聞き入れながら遊びを「楽しもう」という気持ちになっているようです。これから友だちや集団を意識した活動が中心になってきます。



「高良山山頂をめざして!」

10月23日、ばら組の子どもたちは高良山の“森林つつじ公園”まで登りました。“気合は十分”最後までみんなで励まし合い登りきることが目標です。すれ違う登山者の方に「おはようございます」とあいさつをし、気持ちを高めているようでした。森の中では鳥がさえずり、台風で倒れたのか大木が登山道の上にトンネルのように横たわり「わくわくドキドキ」といった感じでした。普段は舗装された道しか歩かない昨今ですが、子どもたちはバランスを取りながら上手に歩けていました。自然を満喫しながら約1時間、森林つつじ公園に到着しました。山頂から街並みを見た時に、歩いてここまで来たことに驚いていました。そして、満足いっぱいの笑顔でした。そして、家族が作ってくれたお弁当は、格別においしかったようです。



自然を満喫しながら約1時間、森林つつじ公園に到着しました。山頂から街並みを見た時に、歩いてここまで来たことに驚いていました。そして、満足いっぱいの笑顔でした。そして、家族が作ってくれたお弁当は、格別においしかったようです。



「ささやま幼年消防隊 出動!」

11月9日~15日は『秋の全国火災予防運動週間』です。啓発活動の一環で11月8日(金)“ささやま幼年消防クラブ”(ばら組)がパレードを行います。第一分団のポンプ車を先頭に、法被姿のばら組さんが拍子木を打ちながら火災予防を呼びかけます。消防本署から署長さんとはしご車が参加します。保育園出発(13:00)→医大通り→市役所から JR 久留米駅方面→中央町問屋街→市役所→裁判所通り→園到着(13:45)とまわります。お時間がありましたら、応援の声かけをお願いします。



(雨天中止)

11月の行事予定表



- 5日(火) 日本太鼓指導(ばら組)
 - 7日(木) 尿検査回収
 - 8日(金) 防火パレード(ばら組)
 - 9日(土) 子育て交流会すまいる(すみれ・たんぼほ組合同)
 - 16日(土) 園内研究会
 - 20日(水) 避難訓練
 - 26日(火) 誕生会
- 18日…えいごであそぼう(ばら組)
11日、25日…えいごであそぼう(ふじ組)

12月の行事予定表

- 6日(金) 前日準備
 - 7日(土) 親子デー&バザー
 - 10日(火) 誕生会
 - 12日(木) 第2回歯科検診
 - 14日(土) 園内研究会
 - 18日(水) もちつき会、お弁当の日
 - 20日(金) 避難訓練
 - 24日(火) クリスマス会
 - 28日(土) 保育納め
- 2日、16日…えいごであそぼう(ばら組)
9日、23日…えいごであそぼう(ふじ組)

準備の為、早めのお迎えにご協力ください。

給食はありませんのでお弁当を「持参下さい」

お知らせ



本園には特に衣替えはありませんので、登降園時の服装は、各自の判断でお願いします。(長袖ポロシャツ、トレーナーも着用してもらって結構です)

マラソンが始まります



もも、ふじ、ばら組さんは、11月11日からマラソンが始まります。各クラス曜日を決めて走ります。9:50 から準備体操を始めます。

バザー協力のお願い

12月7日(土)に「親子デー&バザー」が開催されます。同日、事業後援会(保護者会)のバザーが行われ、その一つに「物品バザー」を予定しています。これは、皆さんの家庭にねむっている未使用の物品や贈答品を寄付していただき、販売するものです。詳細は後日案内を配付しますので、各家庭で品物を集めておいて下さい。(きれいな衣類、靴、鞆、洗剤類、タオル類、食器類、電化製品【作動するもの】etc…)

案内のお手紙配付後に、園にお持ち下さい。

事業後援会会長 金納雅彦



「子育てでいちばん大切なこと」

著:佐々木正美

『子どもを幸せにするために、いちばん大切なことは何ですか?と聞かれたら、私はこう答えます。「それは、自分のことを好きな子どもに育てることです。“自分っていいな”と思いながら毎日を生きている子どもは、それだけで幸せです。夜、布団に入る時に、明日が来るのが待ち遠しい。昨日より、積み木が高く積めることが誇らしくて仕方がない。友だちに、いろいろなことを教わるのも、教えるのも大好き。それが子どもたちの幸せです。そんな子どもたちは、みんな「自分っていいな」という気持ちを持っています。そして、その子どものまわりには、その子のことが無条件で大好きな親がいます。そう、無条件に好かれているから、子ども自身が、自分のことを好きでいられます。どうか、子どもに「こんなふう成長しろ」と努力を強いる前に、親は無条件に子どもを好きになる努力をしてください。』

保育室をのぞくと、「自分っていいな」という気持ちを持っている子がたくさんいます。園長